

全教神戸市教職員組合との交渉議事録

1. 日 時：令和6年12月4日 18:00～20:00
2. 場 所：教育委員会会議室
3. 出 席 者：(市) 教職員給与課長、教職員給与課労務制度係長、他1名
(組合) 執行委員長、副委員長、書記次長2名、他8名
4. 議 題：勤務労働条件にかかわる団体交渉
5. 発言内容：
＜冒頭あいさつ＞略

(市) それでは、学校経営支援課との交渉を始めます。学校経営支援課情報監理担当課長の〇〇です。情報化推進係長の〇〇です。総務課の政策調整担当課長の〇〇です。

(組合) 港島学園小学部の〇〇です。私からは、G I G AについてとK I C Sについてお話させていただきます。

まず、G I G Aについて、子ども達は端末を上手に使って、授業等で活用させていただいている反面、やはりトラブルも増えているのかなと思います。チャットを使っただけでいじめ案件があったり、犯罪に巻き込まれてしまっている事例であったり、ポルノ動画等を視聴することが可能になっているのが現状です。Yahoo KIDS で検索をかけると、制限はかかっているものの、子ども達は色々と抜け道を知っているので、Google で調べるとそういったサイトが閲覧できるであったり、ゲームができてしまうといった現状があり、そこからパソコン自体にウイルス感染することで、パソコンが変になったとの問い合わせが家庭からあったりするので、その電話が放課後や朝の時間にかかってくることで、私たちの勤務に対して時間が取られてしまったり、保護者から使用制限をかけてほしいといった要望もあるので、勤務時間が圧迫されている面もあるのかなと感じています。やはり使用制限を設ける等していただくことで、子ども達が使う時間の短縮にもつながることや、教育端末として使うというように形に移行できればと考えています。数年後にG I G A端末が変わる予定ということですので、その時に配慮していただければと思っています。

K I C Sについてですが、通知通達のは数はかなり減ってきてはいますが、自分が処理をしないといけない書類や必要な書類をさっと見たい時に下に埋もれていつてしまっている。それを上にピン止めできる機能を電子会議室にあったかと思うので、通知通達でもできるようにしてもらえると報告のし忘れや探す作業の手間が減るかと思います。どうしても読むだけで時間がかかってしまうので、そういった機能をつけていただけるだけでもかなり時間を削減できるかと思っています。

もう一点、庶務事務システムで割振りを取る際にシステム上で休憩時間がどうし

でもうまく入らないので、何回も試行錯誤する時間が取られてしまう状況があるので、システムを簡略化して簡単に取れるようにしていただくことで、短時間でも割り振りを取ろうかと思う教員も出てくるのかなと思います。現状では、割り振りを取るの面倒だからもういいかとなってしまっているところもあるので、気軽にシステムが登録できれば、もう少し活用できるのではと思いますので、よろしくお願いします。

- (市) 現場で子供たちがGIGA端末を使っていることにご支援いただきありがとうございます。どうしてもICTの世界は日々色々な技術が出てきますので、追いつけっこの側面がありますので、100%の設計ができるところはないのですが、まずご懸念をいただいていたチャットであるとか不適切なサイトの閲覧等の問題については、我々の方でも古くから認識しておりまして、まず、今の学習用端末の仕組みは一定のそういった不適切なサイトを見ないようにするフィルタリングの仕掛けが入っています。そのフィルタリングである特定のサイトを遮断するようにするという事です。ところが、世の中で日々怪しいサイトが出てきますので、それを追いつけっこして対応していくということになります。お話ありましたとおり、子ども達がGoogleで調べて検索能力が上がってきている半面そういった抜け道を探すこともできてしまっています。そういったものが見つかった場合には、その都度ご連絡をいただけたら、我々の方でその特定のサイトを遮断するという仕組みがあります。教育ポータル最初の画面から、フィルタリングの申請が非常に手軽にできるようになっています。今直近の10月末時点の件数では、3114件のサイトをブロックしています。先生方の方で、そういったサイトが見つかったら、教育ポータルの方からでも、ご相談いただけたら、日常的にやっていますので、お気軽にお話しただけたらと思います。

利用時間の制限について、これも時折保護者から問い合わせいただいていますので、認識しているところです。今の子供たちに貸与しているGIGA端末で利用制限をしようとしますと、一律の全端末に制限をかけてしまうという仕組みになってしまいます。子供たちの家庭の事情もありますので、一人一人に最適化した設定というのはなかなか難しい面がありまして、今のところは個別のご家庭の方でWIFIをつなげないようにする、ルーターの電源を切ってもらおうといった対応をお願いしています。iPadを例にしますと、ペアレンタルコントロールという保護者が端末の使用時間設定する機能があるがありますが、神戸市の端末で技術的にできるかは検討しないといけないのですが、そういった機能があるということは認識していますので、次の端末の時に何とか、何かしらそういった取り組みができないか技術的な検証を踏まえて検討しているところです。

通知回答について、今年の夏に現場の方々の要望もあり、回覧板機能にピン止め

機能をつけました。どうしてもシステム改修がかかわることですので、費用も発生してきますので、そういった点も踏まえて検討していきたいと思います。

庶務事務システムの割り振りについて、庶務事務システムの割振りの制度自体が複雑だということはあります。システムの方はその制度を受けてシステム改修をしないといけないので、非常に複雑であるし、どれぐらいのコストがかかるのかとの兼ね合いになってきます。今の時点でいつごろできるかは回答できかねますが、なるべく簡略化できないかは、引き続き検討していきたいと思っていますので、ご理解いただければ幸いです。

(組合) ひよどり台小学校の〇〇です。clarinet について、少しずつ改善していただいてありがたいと思っていますが、それぞれ分かれている検査結果について、個人を開いたらその子の結果が全部見られるようにしていただけると、その子の記録を追える一覧でみられるので、そうしていただけたらと思います。外出記録も同様にしていただけると、個人の傾向なども分かるようになるのでそのようにしていただければありがたいと思います

(市) 画面の移り変わりについてすべて私の方で把握できていないので、イメージがわきにくいのですが、これについてもシステム改修が伴うとは思っていますので、なるべくアクセスしやすいような形になるよう引き続き検討していきたいと思います。

<意見交換>略(総務課、健康教育課、児童生徒課)

(市) 続いて、教科指導課との交渉を始めます。教科指導課長の〇〇です。中等教育係長の〇〇です。

(組合) 青陽須磨支援学校の〇〇です。学力テストの件でお話させていただきます。昨年度も同じ話をしていますので、端的にお伝えしたいと思います。学力テスト自体の設計がうまくいっていないので、全国学力テストについて、(国が実施していますが)はねのけられると思いますので、そういった気概を持っていただけたらと思います。また、神戸市の学力定着度調査については、神戸市の判断で辞められると思いますので、辞めていただきたいと思います。

(市) ご要望の件については、管理運営事項に当たるかと思いますが、交渉の場での回答は差し控えさせていただきます。

<意見交換> 略(教科指導課)

(市) 続いて、特別支援教育課との交渉を始めます。特別支援教育課長の〇〇です。特別支援教育推進担当課長の〇〇です。特別支援教育相談センター担当課長の〇〇です。

(組合) 鹿の子台小学校で特別支援学級を担当しています、執行委員の〇〇です。交渉部分の重点要求としてで、特別支援学級の教科書の選定方法についてお話しします。長年お願いしているところですが、教科書選定でKECに検定本を見に行くのですが、閲覧の期間が定められていますが、短い期間になっています。教科書の冊数も非常に少なく、毎回常に混雑しています。現状としては前の会場よりも小さくなっているのごった返しています。鹿の子台小学校は、児童数が増加傾向にあります、この夏30人超の子ども達の教科書選定ということで、5人担任がおりまして、各担任ができるだけその場でコンパクトに時間を短くとれるように工夫を凝らして行っているのですが、人気のある、需要の高い本や今年度新しく入ってきた本は、一生懸命見ようとすると、数限られた本を待っている時間がもったいなく、業務が圧迫されているなど思っております。環境の部分で、少なくとも冊数の増冊をお願いしたいと思います。

(市) 今現在、神戸市の一般図書一覧、380冊が掲載されています。その中から一年間で採択していくという流れになっています。閲覧期間が短期間という点については、KECの2階に今展示させていただいているのですが、これは一年中いつでもみていただけるように一年間通して展示しております。この点については手引きにも記載させていただいています。年度当初の特別支援学級の担任者研修でも周知させていただいているところです。閲覧場所の拡充については、我々の方でもなんとかないかと検討してまいりましたが、どこに拡げるかという点で地域の図書館や小中学校など様々な選択肢があろうかと思いますが、当該校の職員にご負担をかける部分もあります。また、子供に合った教科書という視点で見ると、子どもの情報を所持して閲覧している際に、色々な場所に拡充すると、万が一（子どもの情報が記載された）メモなどの情報漏洩の危惧する部分もあり、場所の拡充には慎重にならざるをえないところです。ただ、閲覧期間の短期間なのは、次年度新たに採択された一般図書については7月下旬の教育委員会会議で最終採択が決定されますが、それ以降毎年お盆明けに特別支援学級の先生に持ち寄っていただき我々特支課とお話させていただくのですが、7月下旬からお盆までという短期間になってしまうのが実情です。その期間をもう少し伸ばせないかという点については、翌年の教科書採択は4月の教育委員会会議で次年度の教科書採択要領が決定されますが、そこからどうしても動きが取れない部分がありまして、前年度1月2月に小中特支学校の先生方に、新たな一般図書アンケートを取っています。その現場の声を吸い上げて、4月に要領が決まった後、小中特支学校の代表の先生方現場と教科書担当の特支課の校長先

生が入り、現場から出てきた希望する図書についての調査委員会を4回開いて検討に入っていきます。それで絞ったものを、次に学識経験者や保護者代表や各校種の校長先生がメンバーの教科書評価委員会で意見をいただき、その意見を元に7月下旬の教育委員会会議に諮って、正式に採択が決まるという流れになっていまして、新規の一般図書に関しては閲覧していただく期間は限られたかぎられた数週間になってしまっているのは事実ですが、それが今最速な状態になっています。ただ、一セットしかない新規図書については工夫の余地はあるかと思いますので、よりたくさん先生の先生が短期間に集まった際にも対応できるような方法を検討していかなければいけないと考えております。

(組合) 年間通して展示されているということは承知していますが、鹿の子台小学校は北神地区に位置するので、学校によっては気軽に KEC によってということが可能な場合もありますが、特に子育て世代の教員などは時間に制約もありますので、なかなかすぐに行けないという点についても、お知りおき頂ければと思います。

<意見交換> 略(特支課)